

「市内回遊拠点に」

三島市 駅南口西街区で方針

三島市の三田操産業振興部長は22日、ホテル事業者に公募で売却する予定の三島駅南口西街区について、楽寿園を活用し、市内回遊の拠点にしていく市の方針を明らかにした。同日開催の市議会6月定例会で杉沢正人氏(改革みしま)の一般質問に答えた。

三田部長は西街区の土地売却の公募要件として、ホテル内に観光案内所を設置することや地元名産品の販売、地元食材を使った飲食店の展開などを盛り込む考えを示し、「宿泊、買い物、食事の一体的

なプロモーションを考えていきたい。広域観光回遊に結びつけることにより、五輪後にも市が公募で売却する

なプロモーションを考
ぎわいを創出できるよ
う取り組んでいく」と
述べた。

西街区の面積は約0・3畝。東街区と一体的な再開発を目指してきたが、地権者の意向がまとまらず断念。昨年夏ごろから民間投資の機運が高まってきたことから民間に売却する方針に転換した。